

あとがき

〈編集顧問〉

太田 保世
諏訪 邦夫
堀江 孝至
村山 正博

〈編集委員〉

相澤 久道
石坂 彰敏
和泉 徹
小川 聡
永井 良三
三嶋 理晃

〈編集協力委員〉

赤石 誠
赤柴 恒人
北風 政史
近藤 哲理
中沢 潔
(五十音順)

高齢者社会は医療と医学のあり方に大きな影響をもたらしている。感染症が疾病の中心であった時代では、治療効果を知るには少数例の経験で十分であり、医学は実感の世界にあった。感染症の減少により高齢社会が到来したが、これは慢性疾患の増加を必然的に伴っていた。年間の重大なイベント発生率が低い疾患が増加したことによって、高齢社会が可能になったということもできる。慢性疾患を積極的に治療するのがよいのか、自然経過に委ねるのがよいのか、治療するとしたらどのように行うべきかを判断するのは容易ではない。そもそもイベントの発生率が低いために、結論を得るには膨大な数の患者を対象とした臨床疫学研究を行わなければならない。EBMの発展は、慢性疾患の増加がきっかけであったといっても過言ではない。心房細動はまさにこのような時代を背景として注目されるようになった疾患である。

かつて慢性心房細動はかならずしも治療の対象ではなかった。平均寿命の短かった時代には、脳梗塞の危険因子として心房細動の重要性が認識されることはあまりなかった。多くの疫学調査によって心房細動は脳梗塞の極めて重要な危険因子であることが明らかとなったのは比較的最近のことである。

心房細動による脳梗塞を予防するには、どのような治療が望まれるのか。この問題については、米国のAFFIRM試験、わが国ではJ-Rhythm試験の結果が公表されている。さらにNIPPON DATAや久山町研究のデータも蓄積されつつある。これらを日常臨床にどのように生かすべきであろうか。本特集がこれらの疑問をもつ臨床医に多くの示唆を与えてくれるものと期待している。

(永井良三)

呼吸と循環 (第56巻 第8号)

2008年8月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,730 円(本体 2,600 円+税 5%)

(2008年、年ぎめ予約購読料 31,800 円)
(税込み、配送料弊社負担)

E-mail: kotojun@igaku-shoin.co.jp

Web <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/kotojun>

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5703

(担当: 菊池・今田)

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三美印刷株式会社 電話 (03) 3803-3131

広告申込所 (株) 医薬広告社 電話 (03) 3814-1971

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

JCLS〈(株)日本著作出版権管理システム委託出版物〉

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。